

●モノグラフ

小学生ナウ

Vol. 6 - I

## 体 罰

### 目次

1. 体罰をくる教育	1
2. 要 約	5
3. 子どもたちが体罰から受けた体験	9
● 体罰の内容 .....	13
● 体罰の後で .....	28
● ケースを追ってみると .....	29
● 体罰されても仕方がないと思うとき .....	29
4. そのとき親たちは	32
● 教師の体罰についての母親の評価 .....	34
● 抗議したか .....	34
● 体罰をどう考えるか .....	34
5. 親たちの叱られ体験	36
● 親たちの小学生時代 .....	36
● 昔の教師と体罰 .....	37
● 親とくらべて .....	40
6. 親たちはどう叱るか	41
● 叱り方のタイプ .....	41
● 子どもは親の体罰をどう受けとめているか .....	44
7. 親たちは体罰をどう見るか	46
● 発達段階との関連で .....	46
● 学校で体罰を用いることについて .....	49
● どんな体罰なら認めるか .....	50
● 体罰がやむをえない場合 .....	52
● 体罰についての受けとめ方を規定する条件 .....	52
資料 1 調査票見本 .....	56
資料 2 基礎集計表 .....	74

# 体罰をめぐる――



東京学芸大学助教授

深谷和子

## 断章

体罰というテーマは、かねてから筆者がぜひ手かけてみたいと思っていたものの1つだった。小学生ナウも創刊以来5年を経て、今回で59冊目の刊行となる。テーマの決定会議で、これを何度か提案しかかったが、学校から調査協力が得られるかが危惧され、その都

度消えてしまっていた。むろん困難を承知の上でぜひにと主張してもよかったです。筆者のほうにも今ひとつその自信がなくて、見送られてきたという事情があったのである。ただ筆者と中原は小学生ナウのvol.1-7で、家庭における親の叱り方を調査し、その中で

親の体罰のかなりひどい事例をかい間見ており、そのことが以来胸の片隅で、くすぶりつづけていた。

今年度のテーマ提案会議にも、筆者はこりずに体罰を提案しかかったが、いまいち賛成は得られず、本来この号は「自主性」となるはずだった。ところが「自主性」の調査票作りが難行し、このテーマがアンケート調査にはなじまないのではないか、と思いはじめた。調査票作成の締め切りが迫る中で、筆者は代替案に、長い間もち続けてきたテーマの一つである「体罰」の調査を提案し、必ずしも乗り気ではなかったパートナーを説得したのである。

といったん決まれば、後はひたすら走る以外にはない。調査票作りに当たって、はじめは①親、②子ども、③教師の三者が、それぞれこの問題をどう受けとめているか、たずねる予定だったが、具体的に調査票作りを進めてゆくと、教師対象の分がどうやって見ても学校側の協力を得られそうにない気がしてきた。きわどい内容をソフトにたずねる、という調査票作りのテクニックについては多少とも自信をもっているわれわれだが、いくら苦心しても、幾分かは刺激的な内容を避けられず、協力が得られそうなものは作れなかった。折悪しく世間は「いじめ」の問題で、沸きたっ

ていた。筆者は「いじめ」と教師の「体罰」に、直接的な関連がないと思っているが、それを言い立てる人も多く、学校側も日一日と神経をとがらせ始めていたのである。

結局、今回の調査では「教師」の声を聞くことを断念した。しかし筆者はいつか機会を得て、そのデータを収集したいと思っている。世が挙げて教師の体罰を非難する中で、なぜ体罰が多少にせよ続けられるのか。学校側にはそれなりの事情も主張もあると思われる。その事情や教師たちの主張をオープンにして、その上で体罰論議がされなければ片手落ちというものであろう。もしこの号を読まれて、全校的に教師対象のアンケート調査に協力してもよいという意志をお持ちの学校があれば、ぜひぜひご連絡をいただきたいと思う。筆者は、まだその希望を捨てていない。

さてこうした事情で、今回の調査対象を母親と子どもに定めたのだが、調査票作りの途中でまた行きづまつた。調査票の内容は、①学校で行われている体罰の実態と、②体罰の受けとめ方、を主としたが、「実態調査」の部分では、現に授業を受けている、もしくは昨年まで授業を受けていた先生による体罰を、子どもや親の口から聞き出すのはしのびなかった。また学校側の調査協力も得られそうに

ない気がした。

そこで小学生とその母親用の調査票の内容は、一般論としての「体罰の受けとめ方」に限定し、それに多少のノイズ（騒音——調査の意図をストレートに出さないために加える項目で、実際のデータ分析には用いない）を加えてソフトなトーンにした。また「体罰の体験」については、中学1年生の母親と生徒に、小学生時代の体験にノイズを加えてたずねることとした。これに父親の意見と昔受けた体罰体験を聞き出す調査票を加えたため、今回の調査票は5種類にわたることとなった。

しかし実施に際して、また困難な条件が加わった。折しも世は、「いじめ」への関心から、その原因論との関わりで「体罰」についての論争へと世論は発展しつつあった。はじめに調査協力を得て実施ができたのは10月中旬、東京のA中学校であったが、12月上旬を最後に、学校をとりまく状況はほとんど調査協力を切り出すことを不可能にしてしまった。例えば11月21日、新聞各紙は、東京都教育委員会が、教え子に体罰を加えて重傷を負わせた34歳の教諭を同委員会はじまって以来の重い処分である「諭旨免職」とし、かつ校長（59歳）も管理責任があるとして戒告処分にしたことを見報している。この時期に、体罰のアンケート

調査が学校側に受け入れられずとも、それは当然であろう。

ただ一つ幸いだったのは、この時期に「いじめ」に対して学校側の対応が求められ、筆者らに講演や助言の要請が数多くあったことである。ふつうなら講演等の要請にはめったに答えられないのだが、とくに筆者は、この半年間あらゆるスケジュールの中で講演を優先させ、その学校の先生や親たちに筆者の気心や教育に対する姿勢を知っていただいた上で、今回の調査への協力を要請した。そしてその中で、いくつかの学校から協力へのOKを得た。中にはその後実施の段階で、辞退された学校もあって、総サンプル数はそれほどには達しなかったが、こうした事情から図表の1つひとつの数字の上には、今回筆者の特別の思い入れがこめられている。

しかしそれでも「体罰の調査をさせてください」とは言い出しかねた。学校側には「叱り方の調査へのご協力を」お願いした。もちろんOKのサインを出される前に、調査票の内容を学校側にお目通しいただくので、いくらノイズを加えてあっても、われわれの意図には多分察しがつかれたであろう。にもかかわらず調査をご承諾いただいたことに、心からお礼を申し上げると共に、こうした事情があ

るにせよ、「叱り方の調査」というカムフラージュをさせていただいた点に、今、心からおわびを申し上げたい。

最後にもう一つお断りしたい点がある。本レポートは、はじめ両者で分担執筆したが、両者のトーンがつり合いのとれないものになってしまったため、筆者が全面的にリライトした。

考えてみれば無理はない。戦後に生まれ、体罰の比較的ない時代に育った世代と筆者世代とでは、このテーマにかかわる積年の思いに格段の違いがあるのは当然であろう。

筆者は第二次世界大戦開始の翌年に小学校に入学し、4年生で終戦を迎えた。いわば、体罰華やかなりし時代の申し子である。自分自身は、親にはむろん先生からも、1度もたたかれた覚えはない。しかし、クラスメートや上級生下級生たちはしおちゅうビンタやその他の体罰をされており、それに加えて「連帯責任」という不合理な罰の与え方が横行していた。自分がいわゆる「いい子」でたたかれた体験がなくとも、その暗い記憶はいつまでも心に残っている。いわば、当時の子どもたちの時代的怨念とでも言うべきものが、筆者の中にいつまでもとりついているためか、体罰には

生理的としか名づけようのない拒否反応が生ずるのを抑えようもない。

しかし時折り、その当時子どもだった筆者に、もし、アンケートが実施されたとしたら、どうだっただろうと考えることがある。おそらく子どもとして「体罰反対」とか「ひどすぎる」とは答えなかったのではないか。体罰が日常化し、それに慣れていたからである。しかし後になるほど、他人ごとであれ、教師の体罰には自分を離れて怒りがよみがえる。歳月を経て子どもが客観的に物を見、自分の意見を持てるようになってはじめて、抗議の声を挙げることもあるとすれば、今、子どもたちが黙して語らないからと言って、それを支えに体罰をくり返すことは許されないだろう。

しかし、体罰についての生理的感覚とそれより生ずる意見には、人によってかなりの、もしくは微妙な違いがあるだろう。そんなわけで本レポートの文責は、すべて筆者が負うものである。

しかしこうした背景の下で、本レポートが書き進められたからと言って、そのためにデータを読み取る目に曇りが生じたとは思っていない。逆にこうした下地があってこそ、數々の数字の語りかける無言の声が聞きとれるのではないだろうか。

# 調査レポート／体罰

## 要 約

### ① 体罰の体験率



中学1年の母親に、子どもが小学生時代体罰を受けた体験をたずねたところ、1度もなかつたと答えた母親は44%。残る56%は1度以上あったと答えている。そしてひどい体罰は学年が上がるにつれて多くなり、男子のほうが多い。教師の性別は、ほぼ男女半々である。（図2、図6、図7）

### ② 体罰の感じ方



中学1年生に、小学生時代をふり返って、一番ひどく体罰をされた時のことを思い出させてみると、ほぼ半数が「今思い出してもひどすぎる」「少しひどいと思う」と答えている。また、体罰をした先生にその時とても反感をもった子は2割。不満をもった子は3割もいる。素直に反省した子は5割で、両者の割合は半々である。またその後にその先生を嫌うようになった子は3分の1。かえって好意を抱くようになった子は5%でしかない。したがって世間でよく言われるよう、体罰が教師と子どもとのきずなを作るなどとは、ほとんど考えられないである。（図4、図9）

東京学芸大学助教授 深谷和子

千葉県総合教育センター所員 中原美恵

### ③親は意外に体罰に支持的

子どもが実際に体罰をされた後で、「子どもが悪いことをしたんだからビシッとやってもらってよかった」と答えた母親は5割に達し、「何があったにしろ、体罰をするとはとんでもない」と答えた母親は16%でしかない。まだ実際に、教師にそのことを抗議した親は2割しかいない。また小学生の母親についても、一般論として教師の体罰には、「わりとしつけに有効」14%、「ごくたまにならよい」68%と肯定的で、「どんなことがあっても用いるべきでない」は17%でしかない。(図10、図11、図12)



### ④叱られずに育ってきた親たち

現在30代後半から40代前半の親たちは、戦後の教育の混乱期に子ども時代を過ごしたため、親や先生からほとんど叱られたこともなく、体罰を受けたこともなく成長してきている。そのことが、子どもが受ける体罰にガードの甘い結果を生み出しているのかもしれない。

(図13、図14、図15、図16)



## 調査レポート／体罰

### 要 約

#### ⑤昔の親と比べて



昔の自分の親たちと比べさせると、とくに母親は自分のほうが親としてきびしく、よく子どもに体罰をしていると答えている。しかし現実には、わが子にそれほど直接的な体罰を用いているわけではない。それに対して父親は、母親より一層叱ったり体罰をしていない。いわば慈父嚴母が、現代の両親像のようである。

(図17、図18、図19)



#### ⑥教師の体罰について

教師の行う体罰については、父親が母親よりも肯定的で、「必要に応じてもっと体罰を用いるべきだ」とする意見は父親で5割、母親で3割に達する。しかし母親について見ると、体罰を肯定するのは学歴の高くない層ほど特徴的である。(図23、図24)

### 調査結果

- 1.調査主題 体罰
- 2.調査視点 世があげて教師の体罰を非難するなかで、なぜ体罰が多少にせよ続けられるのか。親、子どものそれぞれの立場で、この問題をどう受けとめているのか。
- 3.調査項目 体罰への賛否／叱られる理由／父母－どんなときにどんな叱り方をしているか／自分の体験／教師の体罰への賛否など
- 4.調査時期 昭和60年11月

### ⑦教師の体罰が許される時

しかし全体として、親たちが体罰に肯定的な傾向にあると言っても、それはいくつかの条件つきのようである。「ピンタ、ゲンコツ、物でぶつ、つねる、耳などをひっぱる」のような直接的な体罰には反対が多く、せいぜい「正座、立たせる、放課後に残す、校庭を走らせる、宿題を出す」などの間接的な体罰と「お尻をぶつ」程度である。しかもピンタのような直接的体罰に例をとると、それをしてよいと考えるのは、①非行 ②危険を伴う行為 ③友人をいじめたときで、成績が悪かったり、先生の言うことを聞かなかったりなどでピンタをすることは、反対している。(図25、図26)



### ⑧体罰の受けとめ方と個人的条件

子どもが体罰を実際与えられた時に、成績のよい子ほどショックを受け、また親のほうでは、学歴の高い親ほどそれに反発する。また子どものしつけや教育に自信のない親は、たとえ体罰に反対でも、教師に抗議しない。

(図27、図28、図29)



### ⑨提 言

以上のデータから考えると、ごく例外的な場合を除けば、教師は子どもへの直接的な体罰を、絶対にすべきではないと考える。



5.調査対象 子ども { 東京・千葉の小学4・5・6年と  
東京の中学校1年

親 { 小学生の父・母  
中学生の母

6.調査方法 学校通しによる質問紙調査

### 7.サンプル数 (人)

	男 子	女 子	計
小学生(4・5・6年)	374	407	781
小学生の母親			724
中学生(1年)	306	251	557
中学生の母親			478
小学生の父親			586

# 1. 子どもたちが教師から受けた体罰



学校で子どもたちがどんな体罰を受けているかは、子どもの口から語ってもらうより外はない。しかし現に小学校へ通っている子どもの口を通して、それぞれの担任から受けた体罰を聞き出すのは、いかにも心ない行為のようにも思われる。ひょっとしたら、その体罰は、1人の善良な先生が、たまたま一時の激情にかられて見せてしまった人間としての弱点だったかもしれない。それを過去にさかのぼって聞き出すのは、子どもに対して非教育的だと言われても仕方がないかもしれない。毎日そのクラスで授業を受けている子どもたちに、たまたま見せてしまったその先生の弱点を再度思い出させ、その目のレンズを曇らせるのは、本意ではない。

そこでわれわれは、小学校時代の「体罰の経験」については、これを中学生とその母親に限って問うことにした。過去の先生についての思い出なら、多少の記憶をよびおこせても、われわれの罪は怪いだろうと考えたの

である。

中学生から体罰の体験を聞き出す前に、まず小学生に直接、ふだんどのくらい彼らが先生に叱られているか、たずねた結果をこの章のイントロとして使うことから始めよう。図は省略するが、巻末の集計表によれば、「しょっちゅう先生に叱られている」子は男子で22%、女子で3%、「ときどき叱られる」子は男子で59%、女子で49%と、とくに男子にとっては「叱られる」ことが日常的であるようすが示されている。考えてみると、教育とは「いかに叱るか」を軸に成り立つ行為なのかもしれない。

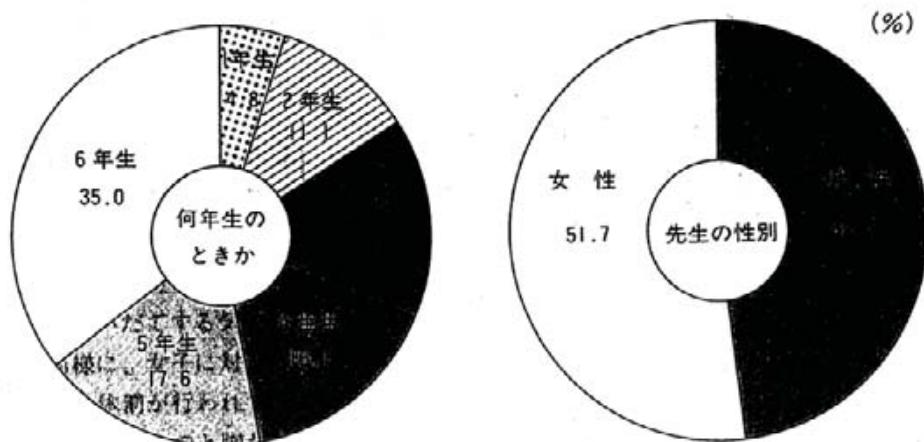
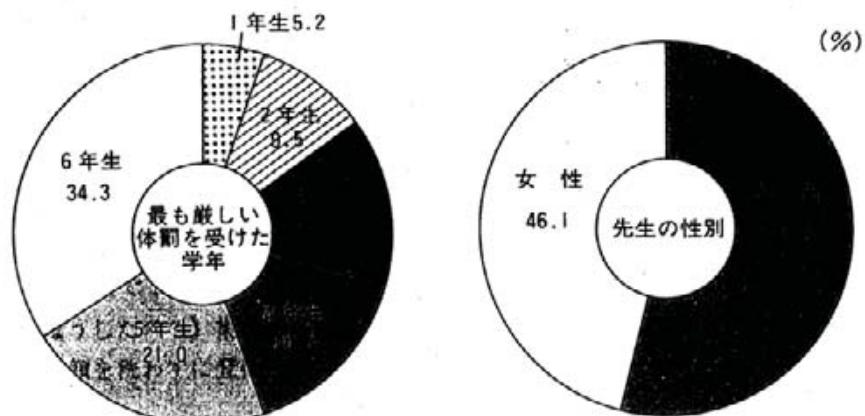
しかし問題は、その叱り方の方法と程度であろう。本来教育的行為であるはずの「叱る」も、一步間違えば非教育的行為となり、時には人道問題にまで進展する場合だってある。

このような、教室で行われる「叱責」の非教育的側面を探るために、まず中学生に、「小学生時代、先生からいちばんひどく叱られた

こと\*についてたずねたのが図1である。図が示すように、今も心に残る厳しい叱られ体験は、高学年になってが多い。特に、6年生での体験率は全体の3分の1を占める。巻末の集計表を見ると、その数字は、ほとんど男子と女子で差がない。叱った先生の性別は、ほぼ男性、女性が半数ずつで、高学年の担任の構成比に近い。男性・女性教師のどちらか一方がきつく叱るという特徴も、見られな

いようである。なお図2は、中学生の母親に「体罰をともなった叱られ方で、お子さんが小学生時代、もっともきびしく受けたのは」とたずねた結果を掲げた。数字は図1の子どもたちの反応と近似しているので、従って図1の「あなたがいちばんひどく叱られた時」の内容は、ほぼ体罰とみてよさそうである。そこで以下の中学生に関する設問の反応は、体罰を対象としたものとみなすことにしてよい。

図1 先生にいちばんひどく叱られたこと(中学生)

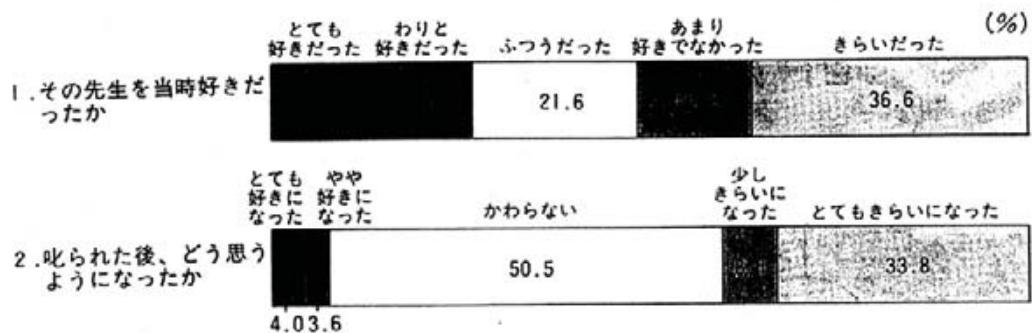
図2 体罰をともなった叱られ方の中で最も厳しかったとき  
(中学生の母親)

そうした約束で図3を見ると、ひどい叱り方（体罰）をしたのは、子どもがそれまで「あまり好きでなかった」または「嫌いだった」教師の場合が5割を占める。逆に子どもが「好きだった」教師は26%と、子どもに好かれる先生は、あまりひどい叱り方（体罰）をして

いないことも推定される。

\*この「ひどく叱られた」には前項で親についての設問を設け、カッコの次に（体罰）と入れておいたので、その内容に、かなりの程度体罰を含んでいると推定される。

図3 ひどく叱った（体罰をされた）先生についての気持ち（中学生）



## ○ 体罰の内容

さて教室の中で、子どもたちは日頃どんな体罰を受けているのか。表1、表2は、子どもの自由記述をそのまま抜き書きしたものだ。表には男女別に、叱られた学年と教師の性別、また\*印は、以前にも増して教師への悪感情が高まったケースを示してある。なお東京A中学校の分はほぼ全数掲載、千葉B中学校の分は重複を省いて掲載した。ただ子どもの中には、「ひどくおこられた」とだけで具体的な叱られ方を記していない場合も多く、掲載されたケースは全体から見てそう多くはない。それでも、ビンタ、ゲンコツ、アンパン<sup>\*</sup>、棒でぶたれた、蹴られた、などと書き込まれた文字を見ていると、筆者らの中に抑えようのない憤りがこみ上げてくる。理由はともかく、相手は子どもではないか。

それに、この男女同権の世の中で特に女子だけをかばいだてする気はないが、男子に対してと同様に、女子に対してもさまざまな場面でひどい体罰が行われているようすを察すると、またふつふつと胸がたぎるのである。いったいこんなしうちを教師から受けなければならぬほど、子どもたちは悪いことをしているのだろうか。

表の記述からまとめて見ると、子どもたちが体罰を受ける場面としては、

- 1) 忘れものをした
- 2) 成績がわるい、できない、失敗した  
(テストの点数がわるくて、何度も教えても覚えなくて、学力テストのクラス平均がわるくて、動作が遅くて作業が時間中に終わらなくて、高跳びができなくて、給食でミルクをこぼして、(親がねばうしたので)集合時間に少し遅れて、顔を洗わずに登校して、等)

3) しゃべったり、ふざけていて、遊んでいて

4) 規則を守らなくて、なまけて  
(図書室で本を何冊も借り出して、ソフトボールのテストの時友人のボールをノーバンドでとって、掃除をサボって)

5) 先生にさからったり反抗して、抗議して、からかって

6) ケンカしたり、物をこわして

7) 仲間はずしやいじめに加わって

8) 仲間のしたことの連帯責任で

9) 教師の思いちがいで

これらの中には、全くもって許し難いと思われる場合から、これでは体罰を受けてもやむをえないと第三者的には判断されるケースまで、さまざまの内容が含まれている。しかし全体としては、果たしてこれらが体罰に値するほどの行為なのか、学校外の人間には理解に苦しむケースがほとんどのように思える。

なかでも気になるのは、当の罰を受けた子ども自身、何で罰を受けたのか、ふにおちないでいる場合が、少なからず見いだされることだ。こうしたケースには、体罰が全く何の教育的意味も持たないばかりか、それ以上にこれは教師による子どもへの「いじめ」と言われても仕方がないように思われる。

なお表3、表4は、母親側の記述である。念入りに読んでいただきたい。ここで何をコメントするよりも、そのほうが多くを語るであろう。

\*アンパンとは、ホッペタを両手ではさみ込むようにして同時にたたくこと。

表1 小学生時代に受けた体罰(東京A中学校生徒)

男 子

注1)	年	性別	体罰の内容		原因
			年齢	性別	
*	1年	男	ピンタをしたり、ろう下に立たされたりした		授業中話していると
*		女	ほっぺたを両方つままれてもち上げられて、両方ピンタを5回くらいされて、ゲンコツを5回くらいされて、机に頭を3回くらいぶつけられた		
*		女	ほっぺたをつかまれ、上にぐっと上げられてピンタをされた		
*		女	頭を机の角にぶつけられた		ちょうど悪いことをすると
*		女	かみの毛をひっぱって、机に頭をたたきつけられた		朝会のとき、ろう下に並びなさいと言っているのになかなか並ばなかったので
*		男	ピンタをされた		
*	2年	女	けつをぶたれた		
*		男女	先生の前でひどくしかられはりたおされたアンパン(ほっぺを両手でたたかれる)をやられた		いたずらみたいのをして
*		男	バケツの水を額にかぶせられたこと		授業中、ふざけていて
*		男	ものさしでめちゃくちゃたたかれた		授業中にしゃべった
*		男	後ろからいきなり頭をなぐられたり、手を上に向いている態勢を30分近くやらされた		顔をあらわないので学校にきて
*		男	げんこつをやられた		人のわる口を言って
*					うるさいから
*	3年	男	正座をずっとさせられた		
*		男	給食をぬかれた		そうじをいつもさぼっていたので
*		女	50センチくらいの棒で100回ぶたれた		原因はわからない
*	4年	男	放課後残されて、ぶっとばされた		
*		男	突然先生が来て、ぼうき棒で頭をたたかれた		授業中遊んでいたら
*		女	屋上でみんなで、棒でもってなぐられた		そうじの時、本を読んでいたら
*		男	自分だけ前に呼び出されて、その時間ずっと立たされてしまった		みんなと一緒に授業中しゃべっていたら
*	5年	男	せっきょうをして、げんこつで頭をたたかれた		
*		男	けられた		しつこくうるさくしたので
*		男	教室に立たされた		ふざけていた
*		男	おうふくピンタを3回だった		忘れものをしたから
*		女	そこに立っていなさいとつきとばされた		宿題を2日おくれで提出した
*		女	ろう下に15人並ばせて、びんたをされた		学芸会の練習のとき体育館の後ろのほうで何かのカタログを15人ぐらい見ていた

表1 小学生時代に受けた体罰(東京A中学校生徒)

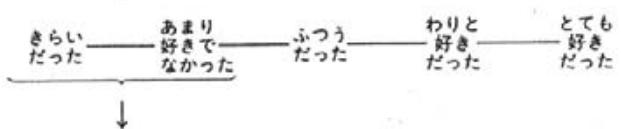
## 男子

			年	性別	体罰の内容	感想
*	6年	男		男	げんこつされた	そうじの時間遊んでいて
		男		男	ぶったたかれた	先生にさからったから
		男		男	めちゃめちゃになぐられた	先生に目をつけられていて、悪いことするとすぐおこられる
*		女		男	ろう下に立たされゲンコツくらった	授業中ふざけた
*		男		女	けつをなぐられた	宿題を忘れた
*		女		男	ろう下に立たされてゲンコツをバシバシくらった	
*		男		男	なぐられた	
*		女		女	体育館の階段で正座をやらされた	そうじの時、よく見てゴミをはいていないと言って
*		男		男	なぐられた	友だちと体育館でプロレスをやっていたらいやな顔しただけで
*		男		男	ほっぺたを思いっきりひっぱたかれた	体育の時間友だちとふざけて
*		男		女	なぐられて、2~3メートルぶとんんだ	図書室で本を何冊もどくせんして
*		男		男	ボールを入れる鉄のかごの中に入れられて	せいれつの時、ふざけていたからではないか?
*		男		男	長なわで開けられないようにふたをしめ、	
*		男		男	体育館そと庫のうらに置かれた	
*		男		男	かたいボールで5、6バツなぐられ、けりをいれられた	ソフトボール投げのテストでAさんのボールをノーパンでとった
*		男		男	なぐられたり、けとばされた	サッカーしていてガラスをわって
*		男		男	はりてを3発と、なぐられたりした	ぼくが体をだらだらしていたら
*		男		男	往復ビンタ何発もやられ、すごい形相でおこられた	忘れた

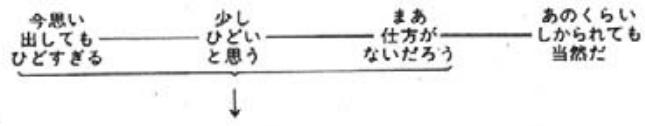
注1)

\*………教師に対する感情の変化が好ましくないケース

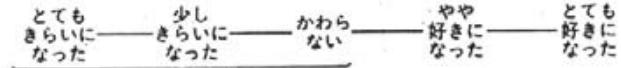
(A) 当時の教師への感情…………



(B) 体罰を受けたことについての感情



(C) 体罰後の教師に対する感情…………



(A)、(B)、(C)の感情の変化が上記のようなケースに\*印を付した。

表1 小学生時代に受けた体罰(東京A中学校生徒)

女子

年齢				性別	体罰の内容	理由
*	小1	女 女	おせっきよう言われて、正座させられた 手でぶたれ、黒板消しやチョークを投げられた		友だちの悪ふざけにつきあつたから 初めての授業さんかんの時、見に来ていた 赤ちゃんがないて、とてもうるさくて耳を ふさいだら	
	小2	女 女 男	ろう下に立たされた ぼっべを左右同時にたたかれた(集団で) 1時間たたかれた(うでをあげて)ついで におうふくピンタももらった		理由はわすれた 先生の言うことをきかなくて 組対組のけんかをして	
*	小3	女 男	ぶたれた 前に出されて、「自分のやったことを声を出 して言え」とみんなの前でハジをかかせ、 顔をいじくりまわしてへんな顔にしてみん なにわらわせ、「早く言わないとみんなの 休みじかんがなくなるぞ」とおどす		忘れものばかりして ちょっとしたことで	
*	小4	男 女 女	ピンタを1発とげんこつ1発 正座させられ、頭をぶたれた 5、6人いっしょにげんこつを受けた		さわいでてクラスの人がほとんどやられた 宿題をわすれて 大そうじの日にチャイムが聞こえなくて、 しばらく教室にもどってこなかった	
*	小5	男 男 男	たたかれた 前に出されてぶたれた ピンタされた		習字の時間、水をとりに行って ある人のイスをひいて、みつかった なんかわたしが男子と口げんかをして、 先生がとめたんだけど、やめなかつたから 何かの道具を忘れて、いつもだったらかし てくれるのに、その日は何かおこっていた らしくて	
*		女	廊下に立たされて何かの仕事を手つだいさ せられた			
*	小6	男 男 女 男	ぐちぐち言われてげんこつされた ぼうでぶたれた ろう下に出されてなぐられた 頭をたたかれた		いたずらでんわをして 宿題をわすれて 国語の時間しゃべったら となりの人としゃべっていたり、さわいだ りして 林間でおそくまであそんでいたときのこと	
*		男	ほうきのえで頭とかをたたかれた、だけど みんなけっこうたたかれたからあまり気に しなかつた			
*		男 女	*あまたれるナと何十発もたたかれた 朝からずっとろう下に正座させられ、作文 も書かされた		高とびでとべなくてこまつたら しゅくだいを忘れて	
*		男	はなを2回なぐられて、はな血がでた		運動会の練習のとき	

表2 小学生時代に受けた体罰(千葉B中学校生徒)

## 男子

性別			年齢	体罰の種類	体罰の内容	体罰の原因
	小1	女	口でしかられ、ピンター発		授業中うしろのやつにちょっかいだした	
*	小2	女	帰りに残された		ふえがふけなかつたから	
		女	サンダルで頭をたたかれた		そんなに悪いことしていないのに	
		男	ピンタ、棒でたたく		休み時間が終わっても帰ってこなかつた	
		女	夕方おそくまで「食べろ、食べろ」と言わ れた		しいたけが食べられないのを知つていて	
		女	ほっぺたをもつて、もちあげられたり、お しりを出させて、しないでたたかれた		テストをやりおわってから先生に出さなく て	
*	小3	女	学校からおいだされ、あやまつてもかえさ れた		宿題をわすれて	
		男	おもいっきりなぐられた		習字の道具をわすれて	
		男	なぐられた		先生のいろいろな物をもやして	
		女	ピンタされた		メガネをわって	
		男	ほうきでおもいっきり足をたたかれた		理由はわからない	
		男	いまでもたたかれた所がみみずばれのよう な物がある		名ふだをつけないで、集金を忘れて	
*	小4	女	なぐられた		友だちをなかしたから	
		男	クラスのみんながたたかれた		体育館にいくのが遅くて	
		女	みんな正座して1回ずつぶたれた		野外学校の時、夜みんながさわいでいたの でとめようとしたら、先生がきて	
		男	冬の時、ろうかに一日じゅう立たされた		体育の時間並ぶのがおそかっただけで	
		女	頭をなぐられた		水道をぶっこわしたとき	
		女	1メートルものさしでももをおもいっきり ぶつた		ほかの人の体そう袋をけったら	
		女	びんたされた		尿検査のとき出すのをわすれた	
*	小5	男	熱いストーブに顔をぎりぎりまでつきつけ られた		おぼえていない	
		男	サンダルでしりをぶたれ、ピンタされた		上ばきをなげて、そうじをさぼったから	
		男	顔をなぐられた		学校に少し行くのがおくれたから	
		男	なぐられた		放送委員会で失敗した	
		男	なぐられたり、カミひっぱられたり、つね られたり、ケラれたり、ほとんどリンチ		何もしてねえのに気分がわるいとやつあた りして	
*	小5	男	理科室のそうじをさせられた		友だちが理科室でふざけているのをとめな かったから	
		女	スペシャルピンタをくらった		そうじをいつもさぼった	
		男	ロッカーにたたきつけられ、内出血した		そうじをと中までしかやらないでやめてし まったから	

表2 小学生時代に受けた体罰(千葉B中学校生徒)

男 子

性別			年齢	性別	年齢	性別	年齢
*	小5	男 男女	髪の毛を持ったままなぐられた ひっぱたかれた ぶんなぐられた			けんかしたから げたばこの上で遊んでいて 卒業式の日、友だちとしゃべっていたら	
*	小6	男	うめぼしをやられた			朝自習の計算ドリルが20問中8問しかできなかった	
*		男 男 男	ピンタ往復10ぐらいとぼうでたたかれた げんこつされて、ろうかに立たされた 自分のせいにされ、なぐられた			楽器ケースの上にのった ともだちをいじめたから 先生がまちがったことを言っていたので 「ちがいますよ」と言ったら	
*		女	なぐる、ける、首をしめる、いのこり、耳をひっぱる、かみの毛をひっぱる……など			自分が学級委員の時、ろう下にみんなを並ばせなかつたので	
*		男 男	足を3ばつ蹴られた なぐられて、正座を1時間半ぐらいさせられた			サッカーでぶつかっていかなかつたので 友だちと自転車をはかいして	
*		女	ひっぱたかれた			いじめてたから うしろのバカがやったのに……	
*		女	おれのかみのけのところをおもいっきりひっぱった			えこひいきしたので反抗した	
*		女	ろう下に立たされてピンタ			友だちが入院したのでおみまいに行こうと決め、ふえの練習があったのに行ってしまったから	
*		女	ほっぺたを5発ぐらいなぐられた			修学旅行でプロレスごっこをして遊んでいて、ガラスをぐうぜんわって	
*		男	廊下に正座させられ、「てめえら自分たちがやったことなんだと思ってるんだ」となぐられた			理由もないのに	
*		男	なぐる、けるのぼうこうをされ、手、足、頭、額がはれあがった			そうじさぼり	
		女 男	ピンタ 職員室で正座させられた			プロレスをして、あいてが頭をうって、のうしんどうさせて	
		男 女	ほおをなぐられた ひっぱたかれた			授業中ケシゴムをなげて えんそくでこうそくどうろでリュックサックをおとして	
*		男	なぐられた			学校でいじめの会に入っていたので	

\* うめぼしとは、頭をゲンコツでぐりぐりされること。

表2 小学生時代に受けた体罰(千葉B中学校生徒)

## 女子

年齢			性別	体罰の内容	原因
*	小1	女		ほっぺたをたたかれた	ほおづえをついていたから
*	小2	女		ノートを床にたたきつけられ、つきとばされた	算数の問題がなかなかできなかったから
*		女		ほっぺたをひっぱたかれたり、頭をなぐられたりした	毎日、算数の教科書を忘れたりしたとき
*		女		ほっぺたを2回たたかれた	朝、自習帳や消しゴムを忘れてわすれた
		女		黒板とか机に頭をぶつける	
*	小3	男		リレーの時につかうバトンでふとももをおもいっきりぶたれて、今でもあざがある	なかまはずれをして
*		男女		リレーに使うバトンでおしりをバキーンとピンタされた	そうじをさぼって運動会のダンスの練習の時、私が一番前で、円をつくるとき、少し卵型になって
*		女		何回もなぐられた	算数とかの問題がとけなくて……。なぐつたって算数がわかるわけじゃないから今まで頭に来ている
*		女		ろうかに正座させられた	席を立っていて
*		男		けっとばされて、ぶたれて	学年体育の時にふざけていたら
*		女		机に頭を打ちつけられた	理由は忘れた
*		男		紙を丸めてぶたれた	うるさかったから
*		男		いきなりももをバトンでぶってきた	わからない
*		女		長いものさしでたたかれた	算数の計算ができなかったとき
	小4	男		クラス全員がおでこを出し、先生が1人ずつ思いっきりおした(ぶつ)、小さい人はふつとばされた	
		男女		毎日ずっとざせんを組ませていた 「とくに3階のベランダは遊んではいけないし、危ないでしょ」とつよい言葉で頭もぶたれた	朝自習の時間、毎日立ち歩いたりしていて3階のベランダで友達3人ではしゃいで遊んでいるとき
*		男		私のえり首をつかんでひどくおこった(のどをしめた)	下級生が私たちにむかって悪口を言ったので、そのせいとのたんにんにもんくを言ったら
*		女		おうふくピンタをくらってキズが残ったむちでおしりをぶった	音楽の用意を忘れた 3秒のうちに席にすわらないと
*	小5	男		たくさんあるので1つだけかきます 先生がおわってないのに来るなど言ってみんなをなぐった Bくんなんかこんなふうにはれていた	体育館そうじが終わって帰ったらAさんたちがばけつの水をこぼしてふいていた そして……

表2 小学生時代に受けた体罰(千葉B中学校生徒)

女子

			性別	年齢	体罰の種類	原因
*	小5	男	後ろに立たされて、ほっぺたぶんぐられて、すこしの間赤くはれていたかった、そしてもう一度そうじのやりなおし		そうじの反省会に出なくてそのまま教室に帰ってきたら	
		男	ピンタと1メートルのものさしでお尻をぶった		わがままを言ったり、やることをやらなかつたりして	
		男	足バット(太いものさしでふくらはぎをたたく)		しゅくだいを忘れたり	
*		女	木刀でおしりをたたかれた		屋上(学校)の所で遊んでいたから	
		女	すぐ暴力をふるう先生で顔をたたかれた		日記を一日忘れただけで	
		男	クラス全員たたかれた		チャイムがなったのに席につかずにさわいでいることが数回あって	
		男	頭をぼうでたたかれた		そうじをさぼったので	
*	小6	女	机に正座		忘れものを2つ以上すると	
*		女	ゲンコツでなぐる、ピンタなど		宿題忘れやそうじのことで	
*		女	ピンタされた		修学旅行に行ったとき、夜遊んでいたら	
		男	正座をさせられ、ほっぺたをぶたれ、頭をなぐられた		部活の練習中遊んでいて	
*		男	ほっぺをぶたれた		学校におかしを持ってきたため	
		男	班の人全員立たされ、平手でたたかれ、とばされ、鼻血を出した		おそうじがおわったのが5分おくれたので	
		男	男の先生がいきなり入ってきて、正座をさせられ、1人ずつ思いっきりぶたれた		たんにんの先生がそうじ中に文集をやっていてよいと言われたのでやっていたら	
*		女	口でおこられたり、正座させられたり、もくそうさせられたり		私たちはその時とてもだらしなくて、ふざけてめちゃくちゃやっていた	
*		男	お腹を足でけり、足であごをけり、平たたきで3ばつ、ほっぺた2はつ		そうじをきちんとしていたのに、頭からほこりをかけ、「やめて」と言ったら、「その言葉は何だ」といかりだした	
*		女	他の人のテストをかえされ、名前をたしかめずに黒板になげつけられ、なぐられた		みんなとないしょで学校のうらで少しの間	
		女	ほうかごも残され、立たされた		犬をかっていた	

表3 小学生のわが子が受けた体罰(東京A中学校母親)

## 男子

			年齢	性別	施用する教員	施用する教員	施用する教員
1年	男	ものさしのようなものでぶった 通路に正座させられた バケツ(水の入った)を持って立たされた	朝礼のとき先生の話にあきて体を動かした 目にゴミが入って、こすっていたら、ふざけていると思われて 皆よりも何か用意をするのが遅れた 忘れました				
		ぼっべたを両方持つてもち上げられて、両方ピンタを連続3回、続いてゲンコツ5回ぐらいされました 頭を押されて、机に3回くらいぶつけられました					
	女	髪の毛をつかまれて、机に頭をたたきつけられた					
	女	机に頭をぶつけられた (イスにすわったままで)					
2年	男	背後から突然、頭を机に向かってぶつけられたので、前歯が折れた	友達のこと、必要でないことを話していく 授業中さわがしくした 友達とケンカをした 宿題や教材などを忘れたなど 全体責任、宿題忘れ、おしゃべり 下校時間なのに、校門の近くで牛乳びんのふたのメンコで遊んでいたので				
	男	教室のうしろに立たされて両手をばんざいし、手の甲を合わせた姿勢でいる					
	女	頭をゲンコでこつん 向ほっぺをつねる定規でおしりを強くなぐる					
	女	頭を強くなぐられました					
3年	男	おしりをものさしでぶった 給食を食べさせてもらはず、子供に向かって「食べたいだらう」「うまいぞ」など言って、見せつけながら食べていただようす	忘れもの 放送でおかしな事を言ったので、笑ったらしかられたようす——前のほうの子供が先に笑って注意を受けたのに、わが子は席がうしろのほうで聞こえずにまた笑ってしまったので、しかられたようす 女子を泣かせた				
	男	背追い投げをされてたたかれた					
4年	男	頭をゲンコツ	ふざけていたので うるさくしたから、廊下を走ったので 友達とケンカした時 友達とふざけていた 子供にも原因はわからない——他の子がしたことを、間違われておこられてしまったわけのわからないことで、何もしないのによくしかられたようす テストの点がわるい時				
	女	尻たたき棒でたたかれた					
	男	ピンタを受けた					
	男	足首を持ってつるされた					
	男	頭にゲンコツをもらった					
	女	立たされた					
	女	「村八分」 1週間、クラス中、その子と口をきいてはいけないという罰					

表3 小学生のわが子が受けた体罰(東京A中学校母親)

## 男 子

年齢	性別	施 罚 の 内 容	考 察 の 方 法
4年	女	男の子2人(となり同士)一緒に両手ではっぺたをたたかれたのですが、私共の子供は耳に直角に手があたったのでしょうか、鼓膜が破れてしましました。その後、耳がおかしいと言ったらしいけど無視されて授業を受け、6時間目が終わって帰宅しました(2~3時間目のできごと)	移動教室の4~5日前で、クラス全体が興奮状態の時期でした。何か決めたあと、授業に戻ろうとした時、いつまでもしゃべっていてしかられたそうです。たぶん、注意されてもやめず、調子にのって話していたのだと思います
5年	女 男	立たされた 正座(時には正座したまま給食をいただいていたようでした) バツ運動——腕立て伏せなど200回とか(翌日、筋肉痛で医者へ行ったほどの時もありました) バツ当番——校庭の草むしり100本(きちんと根がついているかどうか調べるそうです)	シャープペンをいじっていたふざけたりするとしかられた宿題や、忘れものをした時
6年	男  女 男  男  男 女  男  男 男 男  男 女  男  男	額をなぐられた  頭にゲンコツ 足で尻とか足を蹴っとばされた  ほっぺたをたたかれる(ふらつくほどきつく)足の太ももをつねる(内出血するほど) 給食を食べさせない——校長先生に言いに行くと子どもたちが言ったら、チャイムの5分前になってやっと食べさせてくれた ほっぺたをひっぱたかれた ゲンコツをたくさんされた、廊下に長時間立たされた ピンタ(往復)、ケツ蹴り、正座、頭をゲンコツでたたかれたモノでたたかれた、廊下に立たされた(その他いろいろあるので書き切れません) ゲンコツで頭をなぐられる 足で蹴られて、2、3回こづかれた ほっぺたをたたかれ、頭をゲンコツでたたかれたあとに、理科の時間中正座をさせられたお尻を教科書でぶたれた 教室に大勢で正座した 宿の廊下に正座させられた(夜12時すぎに)  額をたたかれたり、つねられたりした。給食を、時間終了ぎりぎりまで食べさせてもらえなかった	今となっては思い出せないささいなことだったらしい 宿題を忘れたため 卒業式の練習の時、友達とふざけ合っていたため おしゃべりをしたこと、授業の前に教科書などの準備が机の上にのっていない時、給食の時に三角食べをしないとおこられた女子をかわいがるので、特に男子が先生のことを嫌いになっていた 体育の時間に友達とふざけていた 屋上に勝手に行ってはいけないのに、行った 友達とケンカ、先生に反抗する  宿題を忘れて 劇の時に、前を見ていなかった 理科の実験の時にふざけたので  そうじをさぼって 林間学校の時、就寝時刻が過ぎたのに話し合ったりふざけたりしていたので、連帯責任でしかられた——本人は寝ていたのに、班長の役目を果たしていなかった責任をとらされた 授業中まじめでなかつたり、先生の話を聞いていないということで

表3 小学生のわが子が受けた体罰(東京A中学校母親)

## 女子

年齢	性別	体罰の内容	原因
2年	女	ほっぺをたたかれた	先生の言うことをきかなかった
3年	男 女 男 男 男	「ケツびん」をされたそうです 運動場を10回走ること 手やほっぺたをつねられた 頭をたたかれた 前に出て皆の方を向かせ、何かぶつぶつ言いながら顔をつねると言いますか、顔のあちこちをつまみあげ、いろいろな表情にゆがむのを皆が笑うという仕組みでした	みんな発言する時、自分だけ発言しなかったので宿題を忘れたので 教室でふざけて1度注意をされてもやめなかっただ為と聞いております 授業中、おしゃべりをしていて 学級会などの時さわいで 小さないたずらとか集合に遅れるとか、用具をもどすのをうっかり忘れてしまったとか
4年	女	正座させられ、ぶたれた	宿題を忘れた
5年	女 男	顔ピンタ、お尻たたき、ゲンコツ 全員ならべられ、はしの方から次々に頭をたたかれたということです	5年生になって初めてのお習字の時間のこと、先生が黒板に「用意をして待ちなさい」と書きました 用意の意味が、4年生の担任はすみをすって待つことだったので水を取りに廊下の水道へ出たら、出あるいていたとしかられた
6年	女 男 男 男 男 男 男	1~2時間正座をさせられた ピンタを2発くらった 棒でおしりと頭をたたかれた 後頭部をぶたれた 棒でおしりをぶたれた 棒でお尻をたたかれた びんた、頭をゲンコツで 廊下に正座させられた 頭をたたかれた	授業中に友人と菓子を食べたこと、忘れものを作したこと、屋上から見知らぬ人に声をかけた(大声) おぼえていない 授業の時、うるさかったので全員しかられた 忘れものと宿題を忘れた時の罰 忘れものや掃除をさぼった時 遅刻 林間の時に夜さわいだ ふざけてガラスをわった モップをふざけて取り合いして折った

表4 小学生のわが子が受けた体罰(千葉B中学校母親)

男 子

年齢	性別	年 齢 等 級	年 齢 等 級
小1	女 女	常に体に傷が残るようなたたき方でした 一番ひどかったのは、鼻をねじりつねられたため、内出血して、数日間傷が残りました お尻をたたかれた	動作が非常にのろく、作業を時間内に終わらせることが出来なかったことと、忘れものです 忘れものとことば使いが悪い
小2	女 女 女 男 女	給食もぬきでずっと教室に立っていました 午後5時すぎまで 鼻血が出る程たたかれた 手足をつねりあげる、かけ算九九を百回書かせた ほぼをピンタ、でん部を棒でぶつ げんこつや黒板けしで頭をたたかれた	授業時間、さされて発言できなかつたので 給食のミルクをこぼして叱られた 先生の話をよくきいていない、友だちと悪ふざけ、宿題忘れ 遊んでいて授業に遅れた、忘れもの 友だちが給食のときもどすのを見て、自分でつられてもどすようになったので
小3	女	ものさしで背中とお尻をぶたれた	算数の問題ができなくて
小4	女 男 女 男 男 男	ほっぺたをたたかれた、お尻を棒でたたかれた 頭をげんこでグリグリされる(梅干) ほっぺたに強くピンタを受けた 足などをぼうでたたかれた ける、ピンタ	よく覚えていません 授業中おしゃべりしていた 給食用の白衣をそまつにした 漢字テストの成績が悪かった 遊びの時使ったボールをかたづけずに教室に戻った等
小5	女 男 女 女 男 男 女 男 男 男	ピンタ 足バットといい、ものさしで足がみみずばれになるほどたたかれた 本とか品物で頭を1~2回たたかれた 先生にホッペタをたたかれた 棒で打たれた、校庭10周、正座 全員並ばせて順に顔をピンタ、鼻血を出す 給食を手で食べさせられた 1メートル前で、ボールを身体に投げられた 2、3回横バラけられ、ついでに頭もなぐられた 皆を1列に並べ、説明もきかず、げんこつで1発ずつなぐった	ふだんなら怒られそうもない軽い約束違反 だが、感情的になって 忘れものをした(教科書、宿題) 忘れものを何回かしたとき けんかの原因もわからないのに、通りがから て友だちの味方をしたから 忘れもの、テストの答えがまちがった時 掃除態度が悪かったので連帯責任 家からはしを持っていくのを忘れた クラブで勇気がないので 朝礼の前、他のクラスの子が石を投げたので、お返しをしたのを見つかって 掃除をやって帰った後、サボっていた子だけで掃除をやっているのを見つけ、先に帰った子はサボっているのとカンちがいして

表4 小学生のわが子が受けた体罰(千葉B中学校母親)

## 男子

年 令	性 別	年 級	年 代	体罰の種類				年 令	性 別	年 級	年 代	体罰の種類			
				1年生	2年生	3年生	4年生					1年生	2年生	3年生	4年生
小5	女	ピンタされた						小6	女	グループ制で仕事や宿題を出しグループの1人ができず、班長だからと責任をとらされた					
									男	足だけられる	遠足に行って、バスの窓からあやまって友だちが荷物を落とした、その荷物の持ち主だったのでしかられた				
				男	なぐった				男	足だけられる	部活で先生の指示通り動かなかった				
				女	しりたたきと言う棒でたたかれた				女	なぐった	相手の子から手を出されてけんかになったにもかかわらず、一方的にスポーツ等にすぐれている相手の子の非は無視し、我が子だけを校長ともどもしかった				
				男	教室の後ろにすわらされた(3~4時間ぐらい)、げんこつをもらった				女	「うめぼし」、「正座」	宿題を忘れたときや教科書を忘れたとき				
				女	教室の後ろで半日正座、ピンタ、ゲンコツ				男	ひっぱたかれた、ほっぺたを15~16回	宿題を忘れた、友だちとケンカした				
				男	旅館のロッカーに正座させられた						学校でのルールを守らなかった(ゲームセンターの出入り、皆で時間外にふざけた)				
											先生をからかった				
											部活のそうじをしている時、楽器のケースを落としたことと、前に楽器の上にのったこともあると他の子がつけ口して、だまっていた態度がわるいとしかられた				
											修学旅行で旅館のガラスを同室の人が割り、連帯責任で				

表4 小学生のわが子が受けた体罰(千葉B中学校母親)

## 女子

		性別	年齢	施設	施設
	小2	女		おでこを机に打ちつけられた 頭を机の上に上から押しつけられ、おでこをぶつけて大きなこぶができる 学年末のお楽しみ会に出してもらはず、教室で自習をさせられていた つきとばされた	覚えていません 何度も教えてもらはっきりわからない、あるいは態度がはっきりしない 算数のドリルが終わっていなかった為、スローモード面があつて 算数の問題が出来なくて
	小3	女		黒板に頭を何回もたたきつけられ、顔をたたかれた。しかし、他人のテストの点であった。先生がまちがっていたにもかかわらず、あやまらなかつた バトンでおしりをたたかれた おしりを棒でたたかれた	テストの点数が悪かったから
		男			授業中、ふざけた 家の金を持ち出し、友人と買いくいなどをして先生に知れた 忘れ物が多かったため
		男			テスト直しを忘れた
		女		無言で罰の生徒のホッペをたたいていく 18問ぐらいを100字ずつ書いた	先生に注意されても周りの人とおしゃべりをやめなかつたから
		女		ほっぺたをたたかれた	
		男			
	小4	男		校庭で四ツ足、にわとり、ダッシュ、アオムケ	忘れもの
		男		1メートルものさし(プラスチックバット)で足をぶつける	漢字テストが悪かった
		男		1メートル竹ものさしで、ふくらはぎをゴルフするようにたたく	忘れもの、宿題忘れ
		女		ピンタ	掃除をさぼった
		女		むちでおしりをたたかれた	3秒以内に席につかなかつた為
		男		座禅をずっと組ませていた	朝自習の時間遊んでいた
	小5	女		木刀でおしりを忘れものの個数だけたたかれる	ハンカチ、チリ紙など忘れると
		男		バスケットボールをぶつけた	バスケットの練習を一生けん命やっていないと思われた
		男		運動会で使うバトンで頭をたたかれ、コブが出来た	先生が話しているとき、友達と私語をかわした
		女		忘れものをしたと自分から先生に言いに行って、ほほをたたかれた	忘れものをするとたたかれるというきまりがあった
		女		額をなぐる	理由なく、気げんの悪い時に
		男		全員、ほっぺたを往復ピンタされた	グループで掃除の仕方が悪く、時間がかかりすぎた

表4 小学生のわが子が受けた体罰(千葉B中学校母親)

## 女子

年齢			性別	体罰の内容	理由
小6	女	一日中、教室で正座 真夏の教室がいつも閉め切り 給食抜き 掃除 ピンタとゲンコツ、顔と頭に 平手ではっぺをたたかれた 正座させられて顔をゲンコツでぶたれた、 そしてピンタされた かなり太い棒でおしりをたたかれた、また 1列に並ばされてピンタをはられた げんこつ、梅ぼし びんたをされた、げんこつで頭をたたく、 そうじをさせる げんこつで頭をなぐる、ほぼをピンタする			宿題忘れや忘れもの、ザリガニに生きたメダカをストーブの上で焼いて与えた等 友だちがうそを言って無実のつみで 学校の図書室でおかしを食べていたから 修学旅行の夜就寝時間中に友達5名と廊下へ出ようとして先生に見つかった 学力テストのクラス平均点がみんなの勉強不足から悪いということで 休み時間、おしゃべりをしていたら 忘れものをした、そうじをはじめにしない、 朝自習をはじめにしなかった 先生が出張で2日も自習をやらせておいて、 自習できなかったものを宿題にし、それをやっていかなかつたり、掃除がきたなかつたりした場合 放課後、理科室の掃除態度と掃除の仕方が悪かったため
	男	担任でもない先生に男女5、6人の生徒の中でうちの子だけがあごを足でけりあげられ、10日間の打撲を受けました。平手で2、3回頭をぶたれた時には目から火が出たようです 平手打ち			修学旅行の集合時間にホンの少し遅刻した時(親が寒すごした為)、運動場の全員の前で理由もきかずに……
	女				

## ○ 体罰の後で

さて、ひどい叱り方（体罰）をした教師に対する感情は、その後どうなったか。P.12図3が示すように、「変わらない」が5割だが、変わった5割の方向は、前より「好きになった」が8%、「嫌いになった」が42%と、圧倒的にマイナス方向への変化が大きい。体罰をすると、その後でかえって人間関係が深まる、という言い方をする人びとかいるが、その人びとは、この数字をしっかり見つめてほしい。

ではそうした体罰を、子どもたちはどんな気持ちで受け止めたのか。図4を見てみよう。中学生となった今、少し冷却期間を置いて考えてみても「ひど過ぎる」26%、「少しひどいと思う」が20%もいる。そして「あのくらい叱られても（体罰されても）当然だ」は14%しかいない。歳月のもたらす治癒力が辛うじて、残りの「まあ仕方がないだろう」40%の数字を生み出しているのだろう。

図4 ひどく叱られたことをどう思っているか(中学生)



な  
う。  
考  
へ  
る  
じ  
の

## ○ ケースを追ってみると

体罰の効果について、世の中には、意外にポジティブなとらえ方をする人びとが多い。むろん体罰によって、教育的効果がもたらされるケースもないわけではないだろう。しかし、逆のケースだってその何倍もあるのではないか。その点を検討してみるために、もう一度表1から表2までを見てみよう。\*印をつけた77ケースは、もともと嫌いな先生から叱られ、ひどい叱り方だと憤慨し、その先生のことをもっと嫌うようになったという最悪のケースを拾い出したものである。\*印のケースの特徴として、4つの点があげられそう

である。①たいした理由でないのに体罰の内容が厳しい、②子どもが無抵抗の状態の時、突然体罰が加えられた、③他の子にくらべ、自分だけがひどい罰を受けたと感じている、④言いがかりや誤解にもとづく体罰である、がそれである。

体罰は法律的に許されていない行為だが、百歩ゆずってどうしてもそれをせざるをえない場合があるとしても、この4点のそれぞれにふれるものでないかどうか、考え方直してみるだけの冷静さを持たなければならないだろう。

## ○ 体罰されても仕方がないと思うとき

さて、今の小学生は体罰について、どんな感覚をもち、どんな受けとめ方をしているのだろうか。

図5は、子どもが普通以上に強い叱責や罰の対象とされても仕方ない場合を挙げて、「先生にはほっぺたをたたかれた」と仮定し、それらの行為が、「もっとひどく罰せられても当然」か、それとも「ほっぺたをたたかれても仕方がない」と受けとめるか、それでは「きびしそうだ」と受けとめるか、を判断させたものである。

全体としては、子どもたちが、予想以上に日常的に体罰に慣れられている感じのする結果である。

図のうち、1と2の非行や3火遊びについてはダントツに「もっときびしく叱ってよい」と答えられており、次に4から8までも、友人をばかにしたりいじめたり、傷つけたり、

また危険な行為をしたりなどで、まあこのくらいの反応は当然かもしれない。しかし9以下の勉強や学校生活に関わる問題について、「たたかれても仕方がない」とする反応が5割から7割に達するのは、予想外だった。おそらくこの程度のことでの、子どもたちは日常よく体罰をされているのかもしれない。14項目のうちで最も「きびしそうだ」と抗議の声が高かったのは、14「いくら教えてもらってもテストで何度もひどく悪い点をとる」だが、これにも7%は「もっときつく叱ってよい」、47%が「たたかれても仕方がない」と答えている。こうした能力上の問題についてすら、「体罰」を否定する声が半数に達しないとは何たることだろうか。くり返しになるが、それだけ子どもたちが、日頃体罰と隣り合わせに生活していることを示すものだろう。

図5 先生にはっぺたをたたかれても仕方がないと思うとき(小学生)

